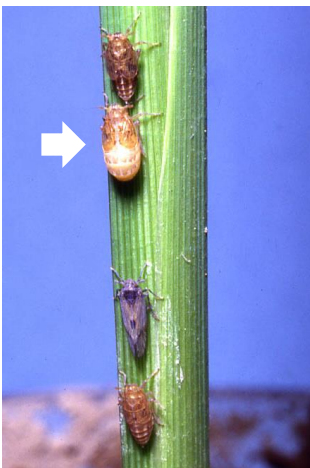


## 県北部の水田でトビイロウンカを確認しました！ ～基幹防除を徹底しましょう～

岡山県病害虫防除所の調査によると、7月1～4日の巡回調査（本田すくい取り）において、県北部の水田でトビイロウンカが確認されました。この時期に発生が確認されたのは、過去10年のうち2回のみで、そのうち1年（平成25年）は県南の広範囲に坪枯れが発生しました。今回確認されたのは県北部ですが、県下広範囲に飛来している可能性がありますので、基幹防除を徹底しましょう。

### <防除上の参考事項>

- (1) トビイロウンカは日本で越冬できず、梅雨期にジェット気流に乗って中国大陸から飛来してくる。そのため、日本での発生量は年次変動が大きい。
- (2) 要防除水準（成幼虫合計で株当たり10頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり0.2頭以上）を超える圃場では、直ちに防除を実施する。なお、本虫は、圃場内で局所的に発生し、かつ株元に集中して生息する特性があるため、株元をよく観察し、発生状況を十分把握する。調査に当たっては圃場の中央部まで入って株元をよく観察する。
- (3) 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、安全・適正に使用する。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するよう留意する。



成虫（体長約5mm）  
（矢印は短翅型雌成虫）



株元に集中して生息



圃場の被害（坪枯れ）

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。  
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

